

令和2年度使用教科用図書 第2回高砂採択地区選定委員会（国語科） 議事録

令和2年7月21日（火）

加古川市人権文化センター

発言者	内容
司会（会長）	国語科の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	調査報告書から、国語科においては、言語活動の定着の配慮がなされていることに重きを置いたほうが良い。東京書籍は、言語活動の充実について十分な配慮がなされていない気がする。
委員	ICT 機器を活用した学習をしやすい内容であるため、今後様々な場面での活用が期待できる。
委員	どの教科書を見てもカラフルで分かりやすい。生徒にとってわかりやすいと思う。他社と比べ、あまり差異はない。
司会（会長）	三省堂についていかがか。
委員	題材ごとに目標が書かれている点が良い。流れがわかった上で、見通しをもって学習に取り組める作りである。
委員	生徒が流れを分かっただけで学習を進め、振り返りができるところが長所である。
委員	古典について、一の谷の合戦を取り上げているところがよい。生徒が興味を持ちやすいようにテレビに出演している夏井いつきの俳句が取り上げられている。
委員	「学びの道しるべ」がわかりにくい。文字サイズが大きく、読みやすい。
司会（会長）	教育出版についていかがか。
委員	時流に合わせ、重松清、池上彰の文章を取り上げている点が面白い。
委員	助詞を3年生で学習するのは遅い。単元の入替えによる配列は気になる。
委員	中学1年生で、河童と蛙、オツベルと象が後ろの方に掲載されており、資料の配列についても気になる。最初の方が学習に入っていくやすいのではないか。
委員	たとえば、18ページ「学びナビ」で読み方、探し読みをしてから本文に入るのが面白い試みである。しかし、従前と違ったスタイルであるため、それが良いのか、本来の国語科教育としてやるべきかどうか気になる。

委員	長年の先生方の経験に即したやり方に合う教科書がよいのではないか。
司会（会長）	光村図書についていかがか。
委員	光村図書は見やすい感じがした。調査員の評価において、劣っている項目がないのが評価できる。
委員	QRコードがついており、内容も充実しているため、授業に活用できるのではないか。
委員	本屋大賞、「羊と鋼の森」が載っているのが良い。他社にも「朝のリレー」の詩が掲載されていたが、光村図書の挿絵は、これから文字を読む楽しさを感じさせる作りである。また、光村図書は、冒頭の詩が1年2年3年とつながりを感じさせる作りである。
司会（会長）	総括をする。
委員	光村図書と三省堂がよいと思われる。生徒の系統的、発展的な学びを保障できるのはこの2社である。
司会（会長）	二つの中では、光村図書を第一に、三省堂を第二に推薦する。